



2024年1月12日

各位

会社名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)
問合せ先 執行役員 長谷 学
TEL 03-5776-2785
URL <https://www.starmica-holdings.co.jp/>

価値創造ストーリーの策定に関するお知らせ

当社グループは、「作る」から「活かす」社会の実現へ」を企業理念(ミッション)に掲げ、公正・誠実に事業を行うとともに、社会に役立つ事業の創造へチャレンジし、「成長性」と「収益性」の双方の追求を目指しております。

この度、持続的な企業価値向上と社会課題解決に取り組むため、価値創造ストーリーをマテリアリティ(重要課題)と共に策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 価値創造ストーリーについて

当社は、当社の根底にある価値観や、これまで培ってきた多様な資本、経営基盤を礎として、社会課題解決を推進し、持続的な企業価値向上を実現するためのストーリーを以下のとおり策定しました。

日本では、“ヒト”・建物の高齢化に伴い様々な社会課題が顕在化しています。当社は、様々な課題を抱えた中古マンションの取得・リノベーション・販売活動を通じ、これらの物件を次の世代へ健全に承継していくことで、人・地域社会・不動産業界・地球環境にとってよりよい価値を創出していきます。

そこで、当社が実現を目指す4つの価値をマテリアリティとして特定いたしました。今後とも当社は、このストーリーに添って“作る”から“活かす”社会の実現へ挑戦してまいります。

(別紙：図「価値創造ストーリー」ご参照)

2. マテリアリティ

人	多様化する不動産購入・売却ニーズへの対応
地域社会	都市部の持続的発展を支える住宅循環システムの普及・定着
不動産業界	新築・中古市場に続く第3の選択肢 リノベーション市場の成長
地球環境	既存住宅活用による環境負荷の低減

3. マテリアリティ特定のプロセス

(1) マテリアリティ候補の抽出

SDGs（国連の持続可能な開発目標）、ISO26000、GRI スタンダード、SASB（サステナビリティ会計基準審議会）といった国際的な指標・ガイダンス、グローバルリスクや事業機会のサステナビリティ課題およびESG格付基準等を参照し、当社の属する産業や当社の事業特性を踏まえマテリアリティ候補を抽出しました。

(2) マテリアリティの選定

抽出したマテリアリティ候補について当社のミッションや経営戦略との関連性を外部専門家との意見交換を通じて客観的に評価したうえで、経営層を中心に協議を重ねてマテリアリティをまとめました。

(3) 社内承認

取締役会における議論を通じて、当社のミッションや経営戦略との関連性を評価し、取締役会決議を経て優先的に取り組むべきマテリアリティを特定しました。

以 上

- 事業を通じた長期的な価値創出を行い、社会の持続可能性向上に貢献



* 当社グループの行動指針（Value）